

都市再生整備計画（第5回変更）

きよさとえきしゅうへんちく
清里駅周辺地区

やまなしけん ほくとし
山梨県 北杜市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	山梨県	市町村名	北杜市	地区名	清里駅周辺地区	面積	390 ha
計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度				

目標

大目標： 観光地「清里」の拠点である駅前を中心とした周辺の整備を図り、地域住民と観光客の交流を強める。

目標 1	駅前広場の整備を図り、観光客と地域住民との更なる交流を図り、清里駅前の賑わいを再生する。
目標 2	駅前の交通渋滞の緩和、交通アクセス条件の改善を図るため道路整備を行う。
目標 3	駅、商店街、観光施設を連携させるため、周辺の環境と調和のとれた道路標識及び各種案内の国際化サインの整備を行う。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ハケ岳南麓の恵まれた自然環境をもつ清里高原は、景観の素晴らしさと夏場の冷涼な気候から、高原酪農風景・小海線の高原列車など牧歌的な情緒が人気を呼び、さらに高速通信体系の整備により全国から観光客が訪れる国内有数の観光地として発展してきた。しかし平成6年以降は、景気の低迷に伴い、観光客の数も減少傾向にあり、清里駅周辺が清里高原の中心地としての魅力と活力を失っている。
- 清里駅周辺整備計画については平成10年より計画に取り組み、13年度から駅周辺を考える学習会を皮切りに地元住民を対象にワークショップを開催し、その結果を踏まえ清里駅整備構想住民意向調査を実施した。平成14年6月には住民意向調査の報告を行い、15年度には清里駅周辺整備事業に関する基本計画策定業務に着手している。
- 清里駅前を中心とした交通網が、夏場の観光シーズンには大渋滞を起こしており、その大きな要因としては駅への交通アクセスに問題があり、駅前ロータリーの整備など交通環境の見直しが必要である。
- 駅舎近くにSLを設置し交通網の歴史を紹介するとともに、観光客の憩いの場を提供する。
- 国際的な観光地清里を目指し、自然との調和の中で、通年型、滞在型の観光地に向け、駅前広場の整備、外国人観光客を対象としたサイン計画など、清里にふさわしいまちづくりを目指している。
- 交流の場として清里駅周辺の魅力的な空間整備と、地域住民と気楽に交流できる場の提供を目指し、駅前の廃墟ビル等の買収、駅前広場の整備等の施策を展開していく。
- 平成18年3月15日に小淵沢町と市町村合併を行った。

課題

清里は国内有数の観光地であるが、駅周辺で渋滞が発生することもあり、観光客の憩いとなる場所や案内に不備がある。

- 清里駅を中心とした交通体系に不備があり、観光客のアクセスが十分でないため観光地としての交通環境の見直しが必要である。
- 清里駅前には、観光客が集えるような広場(公園)がないため、滞在時間も短くなりがちである。その為、駅周辺にポケットパークを整備することが必要である。

将来ビジョン(中長期)

北杜市の道路交通網や魅力的な空間整備を推進することにより農業と観光が結びつき、人と文化の交流がはかられるまちづくりを目指す必要がある。

- 北杜市建設計画(平成16年11月合併)では、清里駅周辺の魅力的な空間整備の推進が位置づけられている。
- 北杜市の基幹産業である農業と観光を結んだまちづくりと、人と文化の交流が出来る環境づくりが必要である。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
駅乗降者数	人/日	一日あたりの駅乗降者数の合計	駅前広場、駅前ロータリー等の整備により乗降客の増加が1割見込まれる。	1,500	15	1,650	22
地域内観光施設利用者数	人/年	地区内観光施設の一年間の利用者数の合計	美術館、博物館等の観光施設は、清里周辺地区全体の魅力が増すことで、観光客の増加が1.5割程見込まれる。	28,000	15	32,000	22
地区内宿泊者数	人/年	地区内宿泊施設の一年間の宿泊者の合計	交通アクセスの整備、駅前商店街の活性化、国際サイン化などにより清里駅周辺地区の魅力が増すことで宿泊者数の増加が1割見込まれる。	7,500	15	8,300	22
清泉寮ソフトクリームの売り上げ	個/月	月平均の売り上げ個数	清里特産であるソフトクリームの売り上げは、清里駅周辺地区全体の魅力が増すことで観光客の増加が見込まれる。	46,000	15	55,000	22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1（駅前が多目的利用が可能な広場の整備を図り、観光客と地域住民の更なるの交流を進め、清里駅前のにぎわいを再生する。）	
<ul style="list-style-type: none"> 多目的なイベントが行える駅前広場を整備し、観光客と、地域住民が共に交流できる場として、駅前空間の活性化を図る。 	地域生活基盤施設（基幹事業/清里駅前広場・エントランス緑地） 地域創造支援事業（提案事業/建物解体）
整備方針2（駅前の交通渋滞の原因となるカ所の改善や、有料道路の無料化に伴う新しい交通アクセスを図るため道路整備を行う。）	
<ul style="list-style-type: none"> 清里有料道路の無料化（平成17年度）や、夏期の観光シーズンには駅前の歩行者天国も視野に入れ、駅前ロータリーや駅周辺道路を整備し、駅前広場、商店街への利便性を考慮した交通体系の確立を図る。 駐車場進入路及び踏切付近の交差点改良を行い利便性の向上を図る。 	道路事業（基幹事業/市道清泉寮線・市道清里駅北線・市道清里駅前吐龍の滝線）地域創造支援事業（提案事業/県道北杜富士見線交差点改良工事）
<ul style="list-style-type: none"> 清里駅前商店街利用者が、快適に、安全に観光できるように、道路の拡幅、空間の質を高める整備を行う。また、点在する観光施設への観光客の移動と回遊性のある歩行空間を整備し、質を高めると共に駅舎近くにSLの設置により交通の歴史を紹介し、観光者の憩いの場を提供する。 	高質空間形成施設（基幹事業/市道清泉寮線・市道清里駅北線）地域創造支援事業（提案事業/SL移転設置）
整備方針3（駅、商店街、観光施設を連携させるため、周辺の環境と調和のとれた道路標識及び各種案内の国際化サインの整備を行う。）	
<ul style="list-style-type: none"> 国際的な観光地「清里」を目指し、周辺の観光施設への誘導や、商店街への回遊が出来るよう案内板の設置を行う。 	地域生活基盤施設（基幹事業/国際化統一サイン計画 14ヶ所）
その他	
<p>○継続的なまちづくりのための方策について</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成16年11月町村合併において「市民基本条例（まちづくり条例）」を制定するため合併協議会において協議を行っているところです。市民参加の原則に基づき、コミュニティ内の問題に解決力を持った「地域委員会」を設けるため検討を行っている。 清里には、地域の課題や観光発展のため「清里観光振興会」が組織されており活発な活動を行っている。 	

市町村決定計画及び市町村施行国道等事業に関する事項

※該当がない場合は本シートをつける必要はない

市町村決定計画

都市施設及び市街地 開発事業の種類	決定/変更	名称	その他必要な事項	変更の概要	都市再生整備計画の 公告(予定)年月日	都市計画の決定又は 変更の期限

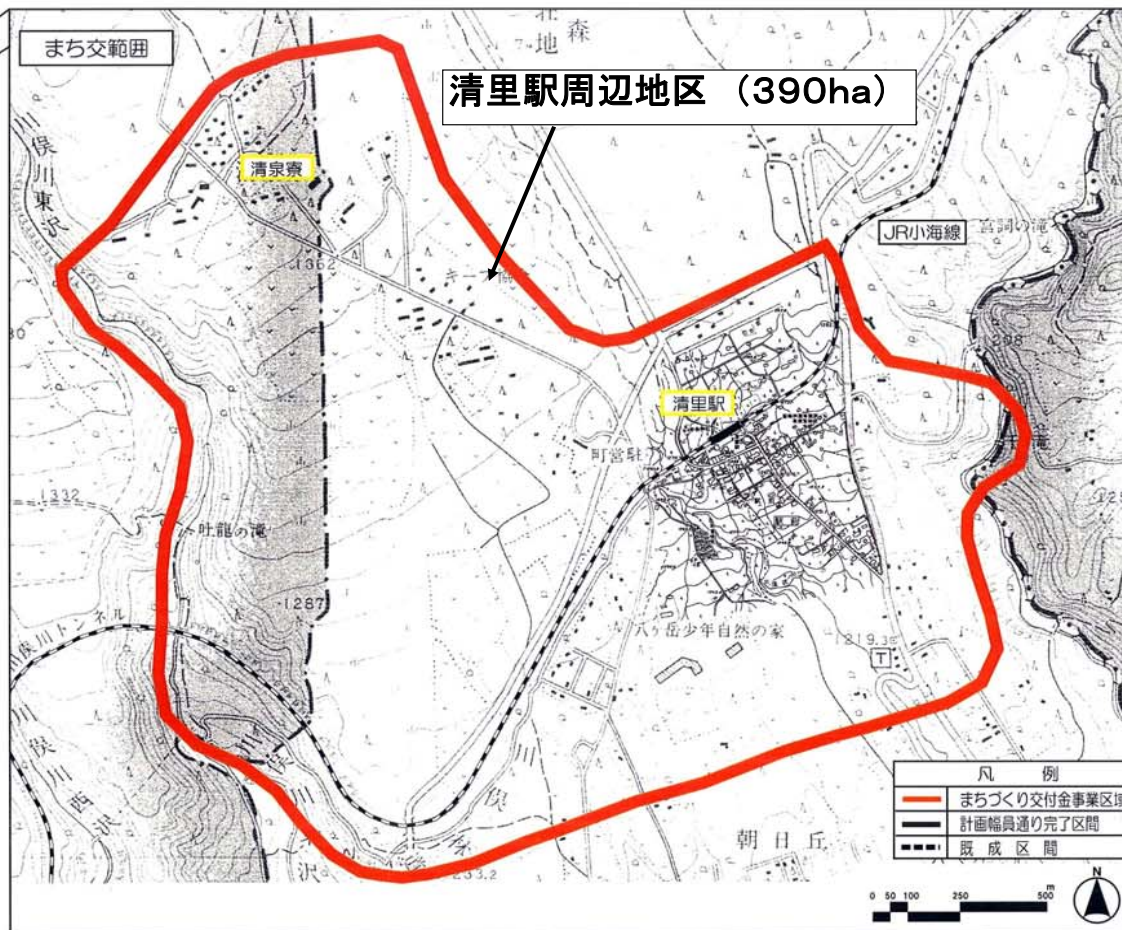
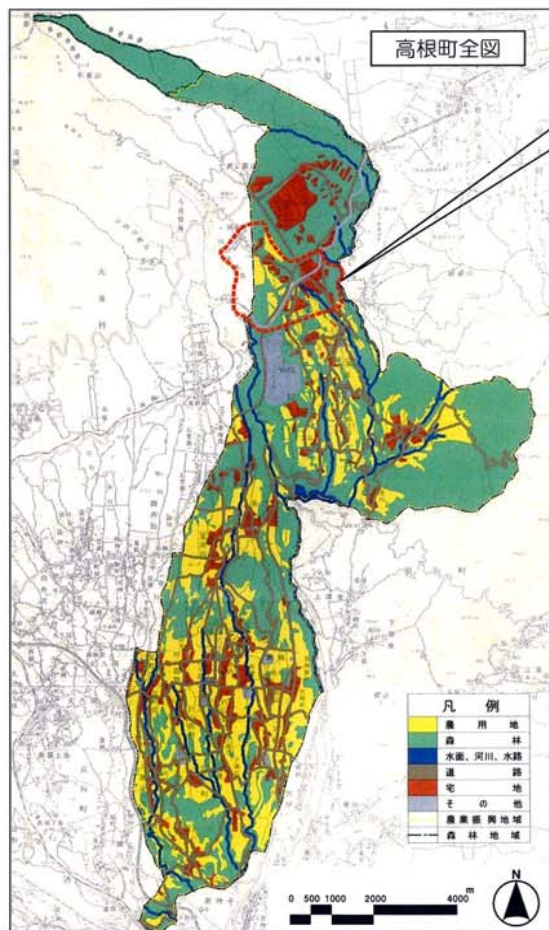
市町村施行国道等事業

道路の種類	路線名	新設又は改築の内容

都市再生整備計画の区域

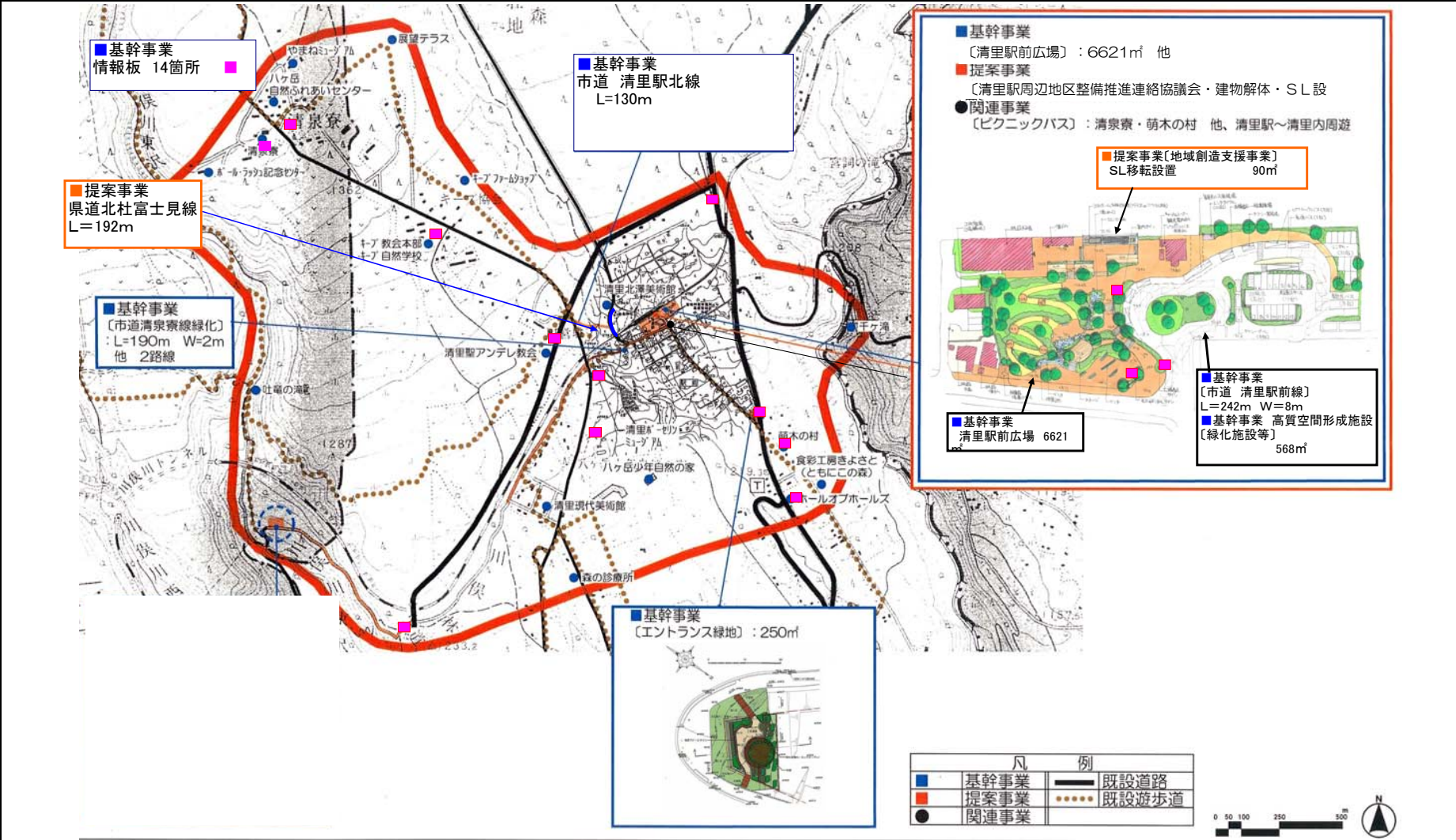
清里駅周辺地区(山梨県北杜市)	面積	390 ha	区域	北杜市高根町清里・北杜市大泉町西井出
-----------------	----	--------	----	--------------------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



清里駅周辺地区(山梨県北杜市) 整備方針概要図-1

目標	観光地「清里」の拠点である駅前を中心とした周辺の整備を図り、地域住民と観光客の交流を強める。	代表的な指標	駅乗降者数(人/日)	1,500(15年度) → 1,650(22年度)
			地区内宿泊施設の宿泊者数(人/年)	7,500(15年度) → 8,300(22年度)
			清泉寮ソフトクリーム売上(個/月)	46,000(15年度) → 55,000(22年度)



清里駅周辺地区(山梨県北杜市) 整備方針概要図-2(基幹事業)

目標	観光地「清里」の拠点である駅前を中心とした周辺の整備を図り、地域住民と観光客の交流を強める。	代表的な指標	駅乗降者数(人/日)	1,500 (15年度) → 1,650 (22年度)
			地区内宿泊施設の宿泊者数(人/年)	7,500 (15年度) → 8,300 (22年度)
			清泉寮ソフトクリーム売上(個/月)	46,000 (15年度) → 55,000 (22年度)

